

# ぶんかざい おおた

## 第5号

平成14年10月15日号

11月1日～7日は  
文化財保護強調週間です



文化財愛護シンボルマーク

私たちのまわりには、地域や歴史にとってかけがいのない多くの文化財があります。地域で親しまれている文化財を、後世に残し、活かし、そして守り伝えていくことは、個性的で大田区らしい歴史と文化のまちづくりにとって欠かすことができません。今回は、平成13年度に実施した文化財に関する事業をご紹介します。

### 平成13年度 登録文化財報告

～区内にある国の登録文化財が、新たに  
4件加わり12件になりました。～

**登録文化財とは**：地域のシンボルであり、歴史と文化を考える際の手がかりとなるものです。

築後50年以上経過した建造物で、①歴史的景観に寄与している、②造形の規範になっている、③再現することが容易でないもの等が該当します。

★**加藤家住宅主屋** 田園調布3-45-19  
大正13年(1924)建築。大正末期から昭和初期の都市住宅の典型的なものの一つです。田園調布らしさを伝えています。

★**鳥海家住宅主屋** 東矢口1-3-11  
昭和12年(1937)建築。昭和期の木造和風住宅の代表として貴重なものです。

★**妙福寺祖師堂<旧七面大明神堂>**  
南千束2-2-7  
天保4年(1833)に、七面大明神堂として建てられたものです。妙福寺は御(護)松庵とも呼ばれています。

伝承によれば、日蓮が池上へ向かう途中、

「千束池」で足を洗い、池のほとりの松に袈裟を掛け、腰をかけて休んだと伝えられ、このことから「洗足池」となったといわれています。その際、池に住む大蛇が現れたので、日蓮が読経祈念して七面大明神としてまつり、庵が営まれたという故事もあります。

★**昭和の暮らし博物館<旧小泉家住宅主屋>**  
南久が原2-26-19 電話 3750-1808

昭和26年(1951)、住宅金融公庫最初期の融資対象として建てられた住宅です。登録文化財の基準に該当する最も年代の新しいものです。現在、昭和の暮らしを学べる博物館として活用されています。



※小泉家住宅建物調査報告書より

# 文化財保存事業報告

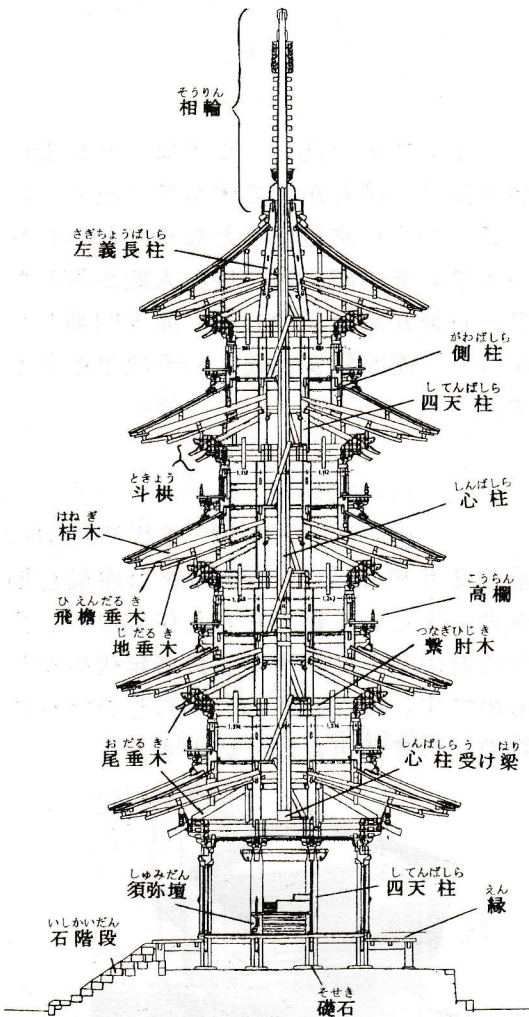
～よみがえった～

重要文化財 本門寺五重塔(池上1-1-1)

国庫補助事業として、平成9年度より行われていた本門寺五重塔の保存修理は平成13年度末に完了しました。

この五重塔は、慶長12年(1607)に着工、翌年に完成した関東最古の五重塔です。

徳川二代将軍秀忠の乳母・正心院日幸尼(岡部局)の発願により幕府の御大工鈴木近江守長次が建立しました。



断面図

現在、夜でも鑑賞できるように「ライトアップ」されています。  
昼間とは違う五重塔の姿に出会えるでしょう。

## 今回の修理について

今までにも、屋根の葺き替え等の小修理は数回行われていますが、塔全体に及ぶ解体修理は、今回が初めてのことでした。

建立から400年が経ち、多くの部材に折れや割れが生じ、建物の傷みは予想以上にひどいものでした。大切な構造材の繫肘木や尾垂木も折れ、また初層床下の柱は根元が腐って礎石から浮き上がった状態のものもありました。

塔の構造が、心柱以外に全層を貫く柱がない積層式であることもあって全体に北西に約1度ほど傾いていました。

## 《元来の部材を再使用》

文化財の保存修理事業ということで、解体修理作業とともに、部材の破損状況、基礎の状態等の現状や修理方針を検討するための記録・調査も行われました。

「できるだけ元来の部材を再使用する」という基本方針で作業を進めました。

そのため、傷んだ柱の根元は「根継ぎ」するなどの伝統的な修理技術が用いられました。また見えない構造材には炭素繊維板をはめ込んで補強するなどの新しい技法も用いられました。

また、漆塗りだった外部は弁柄塗りの仕上げに、四隅の猿や十二支の彫刻が付けられた墓股も彩色が塗り直されました。

## 《今回の修理・調査でわかったこと》

元禄15年から翌16年(1702~3)にかけて、祖師堂(現在の大堂)前あたりから現在の地に移築されましたが、調査の結果、二層以上は解体して、初層は解体せずに移築再建したものであることなどがわかりました。

☆保存修理の報告書は大田図書館と池上図書館で閲覧できます。

# 埋 蔵 文 化 財 発 掘 事 業 報 告

## 久原小学校内遺跡

(久が原四丁目12番久原小学校)

平成13年5月～6月にかけて、校舎増築に伴う校舎西側部分が発掘調査(調査面積約230㎡)されました。調査の結果、旧石器時代では、後期(25,000年前頃)の石核・剥片・チップ等が出土し、遺跡の西の限界を確認できたものと思われま

す。縄文時代では貝層を伴う後期前半(3,500年前頃)の住居跡が1軒発掘され、貝層中から人骨が出土しました。人骨の発見は、住居跡をお墓として利用していたものと考えられます。

弥生時代では、後期後半(1,800年前頃)の長径8mに及ぶ大型の住居跡が2軒発掘されました。

今回の調査成果は、旧石器時代後期をはじめ縄文時代後期と弥生時代後期の集落の広がりにより一層明瞭になったことが、大きな成果としてあげられます。

## 上池上遺跡

(上池台五丁目27番)

平成13年6月末～8月上旬まで、共同住宅の建設に伴う発掘調査(調査面積約300㎡)が行われました。調査の結果、縄文時代前期前半(5,000年前頃)の住居跡3軒、同時期の47基の土壙墓が発掘されました。

土壙墓からは、縄文土器のほかにミニチュア土器、装身具(石製耳飾、玉類)、石器類(石匙等)が出土しており、これらは埋葬された人の副葬品と考えられます。

今回の調査成果は上池上遺跡に暮した縄文人の墓域が居住域の北側に形成する集落形態であったことが推定されたことです。

## 観音塚古墳

(田園調布四丁目9番)

平成13年11月、個人住宅建設に伴う発掘調査(調査面積約180㎡)が行われました。調査の結果、前方後円墳である観音塚古墳の墳丘下に円墳が発見されました。

円墳の規模は直径30mを測り、周溝内

からは5世紀後半の土師器、須恵器、円筒埴輪等が出土しました。つまり、この地には円墳が5世紀後半に築かれ、100年たった6世紀後半にこの円墳を1部破壊して前方後円墳の観音塚古墳が築造されたこととなります。

今回の調査成果は、田園調布古墳群が4世紀から7世紀に形成される中で、今回発見の円墳は古墳が発見されていない5世紀後半を埋める貴重な資料で、円筒埴輪についても多摩川流域の埴輪の変遷を考える上で重要な資料と思われま

## 大森山王中世道路遺跡

(山王一丁目6番)

平成13年4月、共同住宅の建設に伴う発掘調査(調査面積180㎡)が行われました。調査の結果、長さ15.5m幅3.8mの道路遺構が発見されました。この道路遺構からは、奈良時代の須恵器と中世後期の陶器が出土しています。また、この遺構は2度の路面改修が認められ、中世に少なくとも三時期の変遷があったと考えられます。

今回発見の中世道路遺構は、近世の池上道とほぼ同じルート上に沿っており、鎌倉街道下ツ道との関係が注目されます。また、道路遺構内からは、奈良時代の須恵器も出土しており、この道路遺跡が古代東海道の「大井駅」に至るルートを踏襲して構築されたことも考えられ、大田区の交通史を考える上で重要な調査成果といえます。

## 平成13年度埋蔵文化財調査

発掘届 102件、試掘調査 19件、確認調査 1件  
本調査 11件(大森貝塚、観音塚古墳2件、宝萊山古墳、久原小学校内遺跡、桐里遺跡、上池上遺跡、大森堀ノ内遺跡、山王遺跡、久ヶ原遺跡、新井宿横穴墓群)

# お知らせ

## 東京文化財ウィーク（11/3～10）

この期間、都内全域で国・都指定文化財が公開されるほか、各市区町村との連携により各種文化財事業を行います。大田区では、次の事業を実施します。

### ◆ 文化財ウィークマップの配布

10月中旬より、次のところで、文化財ウィークマップを配布しています。

▽配布場所 郷土博物館

区政情報コーナー（区役所2階）

### ◆ 文化財保護強調週間記念講演会

「歴史と文化のまちづくり

～ここにもある！私たちのまちの  
文化遺産～」

▽日時 10月26日(土)午前10時～12時

▽講師 後藤 治（工学院大学助教授）

▽会場 大田区役所2階会議室

▽定員 100名

▽申込方法 電話にて先着順受付

▽申込先 郷土博物館文化財係

### ◆ 史跡めぐり「蒲田西地区」

▽日時 11月21日(木)

午後1時30分～3時30分(小雨決行)

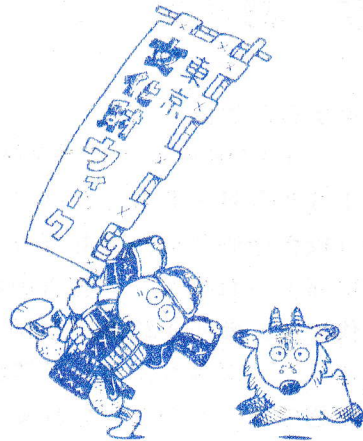
▽集合場所 安方神社

▽コース 安方神社→遍照院（供養塔群他）  
→大楽寺（いぼ地蔵他）→金剛院  
（大日如来坐像他）→御園神社（頌  
徳碑）

▽定員 100名

▽申込方法 往復はがき10月31日必着  
催し物名、参加者全員の住所・  
氏名・年齢、電話番号を明記

▽申込先 郷土博物館文化財係



### ◆ 文化財パネル展

区内の遺跡調査・本門寺五重塔修理状況・登録文化財などの写真パネルや遺跡出土物を期間中展示します。

▽日時 10月26日(土)～11月8日(金)

午前8時30分～午後5時

▽場所 区役所1階ロビー

▽問合せ先 郷土博物館文化財係

### ◆ 文化財の公開

①「法華経板木」(①②とも 池上2-10-5大坊本行寺)  
11月10日(日)

午前9時30分～午後4時30分

②「日蓮上人入滅の旧跡」

11月4日～10日

午前9時30分～午後4時30分

③池上本門寺「宝塔」(池上2-10)と

「五重塔」(池上1-1)の外観

④「国指定史跡亀甲山古墳」

⑤「都指定史跡宝萊山古墳」

⑥「都指定史跡多摩川台古墳群」

(田園調布1-63多摩川台公園内)

▽参加方法 ①②は当日現地へ、③～⑥は期間  
にかかわらず見ることができます。

平成14年10月15日発行(年1回発行予定)  
大田区教育委員会 郷土博物館 文化財係  
〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号  
Tel 03(3777)1281 Fax 03(3777)1283